



斎藤 和美(さいとう かずみ)議員

一括質問

発達障がい児へのつながりのある施策、
レール&フライトの交通を拠点とした
小松の物産振興



動画で
チェック

◆発達障がい児へのつながりのある施策について

Q 発達障害センターえぶりで
の支援について。

A 早期段階での適切な指導は、
身体機能や認知、情緒面での
成長の可能性を大きく広げる事がで
きることから、児童の状態を見極め、
言語聴覚士や作業療法士など様々な
専門職が配置されている医療機関や
福祉事業所への利用調整を積極的に
行っている。

Q プログラムや教室、相談に対
する重要性や必要性について、
市はどのように認識しているか。

A 希望者が増えれば、定員の増
員も可能。言語聴覚士、作業
療法士、理学療法士、臨床心理士に
よる専門相談を行っており、特に言
語の発達の遅れに関する相談が高ま
っているため、今年度は言語聴覚士
による相談会の回数を11回から倍増
の22回に増やしている。また、発達
の面で気になる児童が年々増加して
きていると感じている意見が非常に
多く、そういった中で、障がいの有

無にかかわらず、児童の特性を客観
的に把握できるように、試験的にA
ーによる『理解力』『身体動作』の
発達度を把握できるシステムを導入
している。

Q 教育と福祉の縦横連携につい
て。

A 小中学校でのサポートは教育
研究センターが、えぶりいか
ら引き継ぎサポートしている。教育
研究センターでは、学校のケース
会議に参加し、保護者や学校と連携
し支援に努めている。中学卒業後は
えぶりがしっかりと引き継ぎ、進
路や社会生活等の相談に対応してい
る。

◆交通を拠点とした小松の物産
振興について

Q 空の駅のリニューアルについ
て。

A 小松土産店同様、ネットワー
ク会員の皆様に議論をいただ
き魅力的な店舗づくりに努める。市
としても、必要に応じて支援してい
く。



村中 洋(むらなかひろし)議員

一括質問

買物支援が必要な高齢者の行政支援、
公民館の活動支援、今後の市道管理の
方向性等を聞く



動画で
チェック

◆買物支援が必要な高齢者の行
政支援について

Q 介護保険の認定を受けるまでに
至らないが、支援が必要な高
齢者の買物に対する行政支援は何か。

A 認定を
受ける
までに至らな
いが体が少し
ずつ弱り始め
て生活に支援
が必要となっ
ている高齢者の方については、地域
サポートクラブを利用することが
できる。地域サポートクラブは、サ
ポーター養成講座を受講した住民
ボランティアの方々が、買物代行や
掃除、ゴミ捨て等の生活支援を行う
もの。社会福祉協議会又は高齢者総
合相談センターが窓口となっており、
説明や相談対応を行っている。



Q 今後の公民館活動の在り方を
検討する時期にきているのでは。
変化と予測不可能な時代の到
来を迎え、公民館が担う役割
はこれまで以上に重視されるように
思われる。今後も小松市公民館連合
会と十分に連携を取り、各公民館の
積極的、能動的な取組を支援してま
いりたい。

◆市道の維持・修繕をするため
の必要な措置について

Q さらなる市道の効果的な維持
管理や、市民に対する安全・
安心を確保するため、市道修繕の専
門業者への委託など、維持管理に関
する義務の明確化等の方向性を聞く

A 市道の維持管理の専門業者へ
の委託については、今後、段
階的な外部委託を視野に入れ、市職
員で対応する業務、外部委託する業
務などを整理して、安全・安心な道
路管理に努める。

◆公民館の活動支援について

Q 市立公民館と校下公民館・分
館との連携協力関係はあるのか。

A 各公民館の連携や公民館活動
の振興・発展を図ることを目
的に、小松市公民館連合会が組織さ



中西 肇(なかにし はじめ)議員

一括質問

便利で安心安全なまちづくり



動画でチェック

◆小松市総合治水対策について

Q 雨水排水対策は、市民の安全・安心の観点から市政最大の課題である。雨水排水計画の速やかな策定が必要である。

A 雨水排水計画は、国のガイドラインに基づき、今年度から着手。気候変動を考慮した計画降雨の検討、市全域の各排水区の整備方針や整備手法の検討、効果的な浸水対策等具体化を予定している。

◆ポスト梯川水系緊急治水対策プロジェクトについて

Q 梯川水系の緊急治水対策事業が完成した後、新たな改修計画の見込みは。

A 現在の梯川の治水計画は、国が定める「梯川水系河川整備基本方針」に基づき進められている。令和5年8月に、地球温暖化による気候変動を考慮した治水対策が検討され、「梯川水系流域治水プロジェクト2.0」が公表された。これにより、「梯川水系河川整備基本方針」を気候変動に考慮した内容に見直し、具体的な河川整備計画改定が検討される。

◆河田排水機場について

Q 河田排水機場の改修の内容及び規模については。

A 河田排水機場の災害復旧事業は、今年10月に完了したが、築後30年以上が経過しており、経年劣化による能力の低下等が懸念されるので、今年度より設備の長寿命化事業に着手し、令和7年度完成予定である。耐震補強工事については、令和6年度完成予定。

◆県道小松辰口線の整備について

Q 県道小松辰口線の整備スケジュールについては。

A 梯川の橋梁下部工は、令和4年度までに完成。左岸の軽海町側の地内で盛土工を進めている。令和5年11月から橋梁上部工に着手し、令和7年6月に完成予定。川尻橋は、令和6年度には橋梁下部工を完成し、令和7年度に完成予定。令和10年度までに中海大橋までの堤防の拡幅、かさ上げ等の河川整備が実施される予定である。

◆小松空港国際化に向けて

Q 小松空港に到着する国際便とバス等の二次交通の接続は。

A 団体客であれば貸切りバス、個人客であれば乗合バスやタクシーを利用することになる。需要を見ながら交通事業者に働きかけていきたい。

Q 空港内での外国人対応は十分か。

A 多言語パンフレットの常設化、多言語スタッフの配置、無料WiFiサービスなどを行っている。

◆新しい賑わい創出に向けて

Q 北陸新幹線小松駅開業に向けて、小松駅前の継続したイベント等の開催は。

A 2月にはサンリオライブショー、3月には日本商工会議所青年部全国大会、5月には全国花のまちづくり小松大会等を行う。

Q 近隣市町との連携した広域での観光政策について。

A 加賀地域6市町が地域資源の強みを活かしながら協力して



岡山 晃宏(おかやまあきひろ)議員

一括質問

新幹線時代と国際都市
こまつに向けて



動画でチェック

いる。来年秋には北陸ディスプレイシオンキャンペーンなどで、県外の自治体とも連携し魅力発信する。

◆1人1台タブレットの活用について

Q 現在の授業や自宅での活用について。

A 授業では黒板やノートをタブレットに置き換えるということではなく、タブレットにしかできないような深い学びが行われている。家庭では、AI型ドリルに意欲的に取り組んでいることが分かっている。

Q 誰ひとり取り残さない学びの提供のため、学校を休んだ児童生徒への活用について。特に不登校の児童生徒には、学びの場、居場所づくりとしてタブレット端末をもっと活用するべきでは。

A 学校を休まなければならぬ場合には、保護者や本人とよく話をして最善の方法で、オンライン授業配信等様々な個別の学びができるよう支援している。



梅田 利和(うめだとしかず)議員

一括質問

世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ



動画でチェック

◆北陸新幹線小松駅開業へ、まもなく100日

Q 北陸新幹線小松駅開業に向けた準備、取組はどうか。

A 例年、冬に小松駅周辺をイルミネーションで演出しているが、新幹線開業を迎える本年度は、夜間照明による光の演出をグレードアップし、100日前である12月7日に点灯式を予定している。また、来年2月3日には團十郎劇場で、サンリオキャラクターのオリジナルショーを開催し、開業に向けて盛り上げていく予定である。

一方、首都圏へのプロモーションについては、秋元康氏がプロデュースするラジオ番組での特集など、影響力の大きい著名人による広告宣伝のほか、2月5日の東京タワーライトアップなど、様々な展開を予定している。また、開業後の3月30日には、浅草神社で本市の子供歌舞伎を上演する予定でもある。開業当日には、JR西日本や石川県等による式典が予定され、駅前商店街などが主体のマーケットを開催するなど、市

民や団体の間でも開業に向けた準備が活発化している。本市においても来訪者を盛大におもてなしするためのイベントを企画している。

◆二大交通機能を最大限に生かしたまちづくり

Q 小松空港国際線の再開に伴うアウトバウンド対策について。

A 国際線を有する本市として、海外を経験する若者が増えてほしいと願っている。パスポート補助については、2017年から2019年の3年間、小松空港協議会が18歳から25歳までの新規取得者を対象に、小松空港を利用して台北ソウル、上海へ渡航した場合、旅行代金とパスポート料金の合計額に対し1万円を上限に補助を行っていたことがある。

この実施から社会情勢が変化していることも踏まえ、パスポート補助を含め、アウトバウンド増加を目指した有効な施策について、石川県や小松空港協議会等の関係機関と協議していきたい。



片山 瞬次郎(かたやましゅんじろう)議員

一括質問

帯状疱疹ワクチン接種費用助成の考えは



動画でチェック

◆各種ワクチン接種状況は

Q 秋の新型コロナウイルスワクチン接種とインフルエンザワクチン接種の併用の状況は。

A インフルエンザワクチン接種者の約56%が新型コロナウイルスの秋の接種を受けている。

Q 感染者の後遺症有無の状況は。

A WHOの研究では、感染者の約10%から20%に症状が発生するとされている。

Q 子宮頸がん(HPV)ワクチンのキャッチアップ接種の状況や周知状況について。

A 10月末時点で1,426人(約28%)の方が3回目までの接種を終えている。未接種の方には再度案内を送付している。

Q 帯状疱疹ワクチン接種費用・一部助成の考えは。

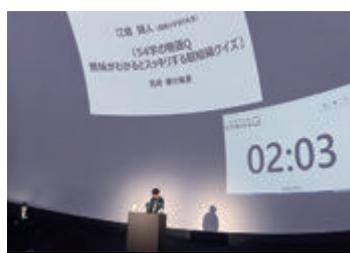
A 市医師会など関係機関等の意見も参考にしながら、市独自の助成について検討していきたい。

◆ビブリオバトルについて

Q ビブリオバトルの有用性と小松市のビブリオバトル大会に

ついて。

A ビブリオバトルが求める読書とは、他者の考えに耳を傾けることが含まれており、自分一人だけの読書から複数人を巻き込んだコミュニケーションと言い換えることができる。科学やグローバル化が進展する今後においてとても大事な役割を果たしていくと思う。大会は今後も大事にしていきたい。



小学生ミニビブリオバトルinこまつ

◆廃食油回収ボックスについて

Q 回収ボックスをスーパーに設置することとなった経緯と市の意図は。

A リサイクルネットワークin小松の会員数の減少や、精製した燃料を使用する車両の高度化により使用できなくなったため。これまでに以上に民間の自主的な取組を支援していきたい。



橋本 米子(はしもとよねこ)議員

一括質問

老人福祉センター千松閣の 営業休止について



動画で
チェック

◆来年度予算編成に関して
会計年度任用職員の待遇改善
について

Q 正規職員及び会計年度任用職
員の人数と比率について。

A 職員数1,239名のうち約
半数が会計年度任用職員。フ
ルタイムに換算すると約4割となる。

Q 期末手当・勤勉手当について
は継続して6か月、週15・5
時間以上勤務する者を対象として
いただきたい。

A 現在、基準日に在職する任期
6月以上かつ週29時間以上勤
務の方に期末手当を支給している。
令和6年4月1日より短時間の方も
勤勉手当の支給ができることとされ、
県・他市の動向や人事評価制度導入
も含め検討を進めている。

Q 「3年目の壁」をなくして安
定した雇用改善を求めたい。

A 人事全体を勘案し、必要に
応じて見直していきたい。

◆老人福祉センター千松閣の当
面営業休止について

Q 千松閣は元気を保ち、介護予
防のために必要な施設だ。位置
づけは。

A 市全体
での公
共施設の最適
化を踏まえ、
千松閣の今後
の取り扱いを
考えるととも
に、他の公共
施設や地域・民間サービスの利用促
進により、高齢者の交流や生きがい
活動を引き続き応援していきたい。



12月28日で当面営業休止に
なった千松閣

Q 営業休止を受け、代替措置と
して粟津温泉の活性化と合わ
せ旅館の活用策はどうか。

A 市としてそのように活用する
ことは考えていない。休止に
ついて各旅館等にもお知らせし、各
旅館において高齢者の集いの機会が
さらに高まるような各種サービスの
充実に期待したい。

◆来年度の中学校教科書の採択
について

Q 教科書を答申する立場の選定
委員会の構成に配慮を求めた
い。

A 国から示される通知にのつ
つり、再度確認・検討してい
きたい。



木下 裕介(きのしたひろゆき)議員

一問一答

ハラスメントの事実を 確認されたのか



動画で
チェック

◆介護保険について

Q 本市の介護保険での福祉用具
購入費の支給は、利用者が一
時的に全額負担する「償還払い」と
なっている。一方で住宅改修費の支
給は、利用者が自己負担額分のみを
支払う「受領委任払い」で、約8割
の高い利用実績となっている。福祉
用具購入も受領委任払いの導入を求
めるが、見解は。

A 利用者負担の軽減を考え、来
年度中の導入を検討してい
きたい。

◆市職員のハラスメント調査

Q 9月議会での質問に「ハラス
メントの事実が確認された場
合、懲戒審査委員会の審議を経て、
懲戒処分に対応となる」と答弁があ
った。その後3か月が過ぎ、調査も
進んだと思われるが、ハラスメント
の事実は確認されたのか。

A 事実確認の結果、ハラスメン
ト行為が認定されたものや非
違行為については懲戒処分の審議を
行った。内容についてはこの後、全
員協議会で市長から報告させていた
いく。

◆公契約条例の制定について

Q 2012年6月議会の質問で
条例制定を求め、今後、国、
県の動向、指導を仰ぎながら、必要
に応じて対処していく」との答弁で
あった。十数年が過ぎ、情勢も変わ
った。改めて、条例制定の考えは。

A 昨年度の平均落札率は95・24
%で過度な価格競争になつて
いないため、現時点で制定の予定は
ない。

Q 労働者の賃金向上のため、市
として出来ることは何か。

A 企業が利益を上げるよう効率
的な仕事を行える仕組みをつ
くることが重要。技術者の配置期間
緩和や不当に安価な落札を防ぐ低入
札価格調査制度を導入した。

◆こまつマラソン勧進帳につ
いて

Q 愛好者から要望の多いフルマ
ラソン化を求めるが、見解は。

A 需要も考慮し、新設または既
存大会の力テゴリー見直しも
含めて、市陸上協会等と十分協議し
ていきたい。